

ひきこもり支援センターほっとプラザの支援体制を強化します



令和7年(2025年) 11月25日
東海市記者会見資料
社会福祉課

ほっとプラザの1日平均利用者数が20人を上回り、施設での多様な活動を通じて利用者の自立意欲が高まっています。相談支援、居場所支援、家族会支援、就労支援・就労準備支援、学習・生活支援、講演会・研修会の開催などの事業を開発する中で、支援体制の強化を図り、より安全で効果的な支援を提供し、利用者一人ひとりの自立と社会参加の実現に向けて、きめ細やかなサポートに取り組んでまいります。

1 学習・生活支援の拡充

利用者の増加に対応するため、学生アルバイトを1名増員し、5名体制とすることで、よりきめ細やかな支援を提供します。

2 安全性とセキュリティの向上

利用者の安全確保と情報保護のため、対人・対物賠償責任保険の追加及びPC本体に加えストレージやネットワークのセキュリティ対策を追加実施します。

3 就労支援の強化

職場体験の機会を増やすため、受入企業への報償費を新設し、年間20回の職場体験を実施します。これにより、利用者の就労への準備をより実践的に支援します。

【利用者数の推移】(R7は9月末までの実績)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1日平均利用者数	3.01人	5.61人	10.07人	11.41人	14.54人	20.79人
学習・生活支援実人数	-	-	12人	24人	24人	20人



【委託先】

特定非営利活動法人 オレンジの会 (平成14年(2002年)法人認証)

【予算措置】

＜債務負担行為＞ ひきこもり支援センター設置事業

期間 令和6年度(2024年度)～令和11年度(2029年度)

限度額 189,400千円(補正後限度額 200,500千円)